

令和6年第1回保土ヶ谷区区づくり推進横浜市議員会議

令和6年2月5日（月） 午前10時30分から
保土ヶ谷区役所地下会議室

次 第

議 題

- 1 令和6年度保土ヶ谷区編成予算案について
- 2 保土ヶ谷区子育てアンケートの結果概要について
- 3 その他

令和 6 年度

保土ヶ谷区編成予算案概要

《目次》

1. 令和6年度保土ヶ谷区編成予算案について	1
2. 個性ある区づくり推進費自主企画事業について	3
1 自主企画事業一覧	3
2 主な事業の概要	
ほ도가や happy 子育て	13
災害対策推進事業	14
区制100周年ブースター事業	15
花薫るきれいな街ほ도가や事業	16
3 統合事業一覧	17

参考

「区提案反映制度」項目・対応状況一覧	18
--------------------	----

1. 令和6年度保土ヶ谷区編成予算案について

～「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」に向けて～

横浜市中期計画 2022～2025 の基本戦略「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」を念頭に、区の特長や地域資源を生かした事業に取り組みます。

また、令和9年の区制100周年やGREEN×EXPO 2027を契機に保土ヶ谷区の魅力を向上させ、「住みたいまち 住み続けたいまち ほどがや」の実現を目指します。

1 個性ある区づくり推進費区別総括表

(単位：千円)

区 分	6年度予算案	5年度予算	増△減
(1) 自主企画事業費 区が独自に企画し、区が自ら執行する事業に係る経費	100,227	101,050	△823
(2) 統合事務事業費	42,296	42,614	△318
統合事務費 区の事務・運営を行うために必要な経費	23,999	24,663	△664
統合事業費 各区で共通している事業で区の裁量が少ない事業に係る経費	18,297	17,951	346
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費 区庁舎・区民利用施設の管理運営に係る経費	577,343	554,078	23,265
合 計	719,866	697,742	22,124

2 内訳

(1) 自主企画事業費 (全33事業)

(単位：千円)

施策分野	6年度予算案	5年度予算	増△減
I 子どもから高齢者まで誰もが健やかに暮らせるまちづくり	21,437	22,368	△931
II 暮らしの安全・安心の確保	20,952	23,580	△2,628
III つながり・支えあいの推進	22,957	22,496	461
IV 魅力と賑わいのあるまちづくり	20,189	17,144	3,045
V 信頼される区役所づくり	14,692	15,462	△770
合 計	100,227	101,050	△823

(2) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：千円)

区分	6年度予算案	5年度予算	増△減
区庁舎	111,174	103,628	7,546
ほどがや市民活動センター	26,129	26,129	0
土木事務所	9,672	9,777	△105
公会堂	58,610	58,155	455
地区センター等	364,685	349,113	15,572
広場・遊び場	2,388	2,388	0
区庁舎・区民利用施設修繕費	4,685	4,888	△203
合 計	577,343	554,078	23,265

2. 個性ある区づくり推進費自主企画事業について

1 自主企画事業一覧 (R6 100, 227千円・33事業 R5 101, 050千円)

(単位：千円)

I 子どもから高齢者まで誰もが健やかに暮らせるまちづくり

【21, 437千円】

誰もが住み慣れたまちでいきいきと暮らせるよう、地域と連携した子育て支援や地域資源を生かしたこどもの体験・交流の場の提供、高齢者・障害のある方への支援、スポーツ振興などに取り組みます。

事業名	事業内容
<p>1 ほ도가や happy 子育て～妊娠期からの安心サポート～拡充</p> <p>《こども家庭支援課》</p> <p>【R6 予算：5,898】</p> <p>【R5 予算：5,686】</p>	<p>養育者が楽しく安心して子育てができるよう、妊娠期から学齢期までトータルで子育て世帯や子ども達を支援する事業を実施します。実施にあたっては地域の方々や子育て関係機関と連携しながら進めていきます。</p> <p>1 地域と連携した子育て支援</p> <p>(1) 地域赤ちゃん教室の開催 (14 地区、通年)</p> <p>(2) 子育てお役立ち情報の発信 (子育て支援マップの配布、健診時の待ち時間を利用した子育て関連情報の提供等) (通年)</p> <p>(3) 地域子育て支援連絡会の開催 (全体会：2月、地区別連絡会：7地区、通年)</p> <p>(4) ほ도가や子どもニコニコフェスタの開催 (10月) 拡充</p> <p>2 保育所による妊娠期・未就学児親子の支援</p> <p>(1) 保育士が商業施設等に出向き「子育て応援隊」を開催 (3回)</p> <p>(2) 妊婦や未就学児親子を対象に育児相談や園庭開放、絵本の貸出 (通年)</p> <p>(3) 親子向けイベント「ほがらか広場」(10月) や子育てサロンでの「ほがらか育児講座」(5回) の開催</p> <p>(4) 親子で楽しめる芸術鑑賞イベントの開催 (9月予定) 新規</p> <p>3 地域と連携した放課後事業</p> <p>(1) 放課後の居場所づくりを行っている団体のネットワーク会議の開催 (3回)</p> <p>(2) 各団体の活動を周知するためのHP作成 新規</p> <p>(3) 放課後児童健全育成事業所への学習支援アドバイザー紹介やプログラム等の運営支援 (通年)</p> <p style="text-align: right;">⇒詳細は13ページ参照</p>

<p>2 こどもを守ろう！地域子育てつながり事業</p> <p>《こども家庭支援課》 【R6 予算：1,795】 【R5 予算：1,623】</p>	<p>こども虐待防止について広く区民に関心を持っていただくとともに、子育て支援に関わる関係機関や地域との連携を強化し、地域の見守りの力を高めます。また、孤立しやすいひとり親の養育者について、貧困対策や女性の自立のための支援を行い、安定した生活につなげます。</p> <p>1 児童虐待防止啓発活動の実施</p> <p>(1) ほ도가や花フェスタ（5月）や区民まつり（10月）での啓発 (2) 児童虐待防止推進月間（11月）に、区庁舎をオレンジリボンで装飾 (3) 子ども向け啓発チラシを区内の小学校に配布（11月予定） (4) 区庁舎モニターで児童虐待防止啓発動画を放映（通年）</p> <p>2 要保護児童対策地域協議会実務者会議の開催</p> <p>(1) 地域関係機関との連携強化を目的とした実務者全体会議（6月） (2) エリア別会議（地域ケアプラザエリア別、全8回）</p> <p>3 女性のDV・離婚等のための弁護士相談の実施（年6回）</p>
<p>3 こどもが主役！地域の魅力体験事業～みんなで育む元気ながやっこ～<u>拡充</u></p> <p>《地域振興課》 【R6 予算：2,654】 【R5 予算：2,260】</p>	<p>未来を担うこどもたちが健やかに成長できる環境の実現を図るため、横浜国立大学や文化芸術団体、横浜FCとの連携事業や区内の貴重な水田を使用した事業など、地域の資源を活用したこども向け事業を実施します。</p> <p>また、大学生や地域のボランティアに事業の運営を担ってもらうことで、参加児童との世代間交流を促進します。</p> <p>1 横浜国立大学と連携した体験学習（通年）</p> <p>(1) 国大の教員による小中学生を対象とした体験教室の開催（夏期、冬期に計20回程度） (2) 国大生の企画・運営による小学生を対象とした体験学習の実施（区内小学生向け：年間7回程度、小学校単位：5校（回）程度）</p> <p>2 ほ도가や☆元気村（水田を活用した農業体験等、通年）</p> <p>3 子ども音楽体験<u>新規</u></p> <p>(1) 地域で活動する文化芸術団体と連携した区内中学校等での音楽体験の実施（3校程度）</p> <p>4 横浜FCと連携したスポーツ体験（7～9月）<u>新規</u></p> <p>5 子ども会育成者研修の実施（通年）</p>
<p>4 知ってつながる、障害児地域交流推進事業</p> <p>《こども家庭支援課》 【R6 予算：260】 【R5 予算：405】</p>	<p>障害児が本人の特性やライフステージに応じて充実した地域生活を送れるような場を提供するとともに、区民に対し「知ってつながる」をテーマに啓発講座を開催し、障害と障害児への理解を深める機会を作ります。</p> <p>1 長期休み期間プログラムに対する支援</p> <p>(1) 地域ケアプラザや地域活動ホーム等が実施主体となる長期休み期間の地域交流・啓発講座の開催（年2回）</p> <p>2 区ホームページや関係機関等の既存媒体を活用した啓発の強化（通年）</p>
<p>5 障害者いきいき地域生活支援事業</p> <p>《高齢・障害支援課》 【R6 予算：806】 【R5 予算：1,798】</p>	<p>障害のある人もない人も、住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、障害者支援機関が課題解決に向けて話し合う保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会の円滑な運営を支援します。</p> <p>また、障害者のさらなる社会参加を進めるため、障害者施設の自主製品の販路拡大や受注機会確保に向けたサポートを行います。</p> <p>1 障害者の地域生活支援</p> <p>(1) 自立支援協議会の活動・運営支援（通年） (2) 出張販売会など自主製品の販売促進支援（通年）</p>

<p>6 輝けシニア！2025 事業</p> <p>《高齢・障害支援課》</p> <p>【R6 予算：1,145】</p> <p>【R5 予算：1,047】</p>	<p>高齢者が可能な限り地域で自立した生活が送れるよう、その人の状態に応じた健康づくり・介護予防及び社会参加等を支援するとともに、本人・家族及び地域の支え合いや介護、医療、関係機関の連携を進めます。</p> <p>1 きらり☆シニア事業</p> <p>(1) 住民主体の健康活動グループ「きらり☆シニア塾」啓発リーフレットの作成（9月）、新規団体の募集・活動支援（9月～）</p> <p>(2) 「わがまち保土ヶ谷体操」普及カードの区民まつり等での配布（10月）</p> <p>2 老人クラブ支援（共催事業）</p> <p>(1) ことぶき大学（7月）、かがやき作品展（10～11月）、かがやき囲碁・将棋大会（1月）の開催</p> <p>3 認知症高齢者等の支援</p> <p>(1) 認知症サポーター養成講座の開催（随時）</p> <p>(2) 区民への認知症に対する理解、対応、見守りの普及啓発（通年）</p> <p>4 地域包括ケアシステムの推進</p> <p>(1) 区アクションプランを活用した普及啓発（通年）</p>
<p>7 ほどがや歯科口腔保健 推進事業</p> <p>《福祉保健課》</p> <p>【R6 予算：2,541】</p> <p>【R5 予算：2,341】</p>	<p>歯の生え始めからのむし歯予防、成人期以降の歯周病予防、そして、オーラルフレイル予防まで、生涯にわたって口腔内を健康に保っていくために世代に応じた手法により啓発します。また、セルフケアと両輪となる歯科医院による専門的口腔ケアにつなげるため、歯科定期健診の受診に向けた取組を実施します。</p> <p>1 セルフケア意識の向上に向けた普及啓発</p> <p>(1) わくわく親子健康フェスタの開催（6月）</p> <p>(2) 歯っぴいいいきいき1歳児の開催（月1回）</p> <p>2 専門的口腔ケア（プロケア）受診の促進</p> <p>(1) 乳幼児親子向け歯科医院受診促進イベントの開催（9～12月）</p> <p>(2) 横浜国立大学と連携した大学生向け定期歯科健診受診促進（～9月）</p> <p>3 歯科口腔保健推進キャラクター「すみれちゃん」を活用した啓発（通年）</p>
<p>8 ほどがや健康生活応援 事業</p> <p>《福祉保健課》</p> <p>【R6 予算：3,248】</p> <p>【R5 予算：4,150】</p>	<p>「働き・子育て世代」（30～50代）を中心とした区民を対象に、元気づくりプロジェクトをきっかけとして健康につながるよう行動の変容を促し、自ら健康を維持・増進する機運を高めます。また、各種イベントで健康に関する情報発信を行い、健康意識を高めていきます。</p> <p>1 保土ヶ谷元気づくりプロジェクト</p> <p>(1) イベント等における HODO HOKO 歩幅体験（通年）</p> <p>(2) HODO WALK・保土ヶ谷まち歩きの開催（9月～11月）</p> <p>2 ほどがや花フェスタ・国大文化祭・区民まつりなど、各種イベントでの啓発（通年）</p>



<p>9 スポーツの街ほ도가や 推進事業</p> <p>《地域振興課》</p> <p>【R 6 予算：3,090】</p> <p>【R 5 予算：3,058】</p>	<p>スポーツ推進委員や区スポーツ協会と連携して、年齢・性別問わず区民の誰もがスポーツに親しみ、交流できる環境づくりを推進します。幅広い年代が参加できる大会の実施を通じて、区民の健康を維持し、スポーツへの関心を高めます。また、保土ヶ谷区をホームタウンとして活動するプロスポーツチームである横浜FCとの協働により、まちの活性化を図ります。</p> <p>1 地域におけるスポーツ推進</p> <p>(1) 少年少女球技大会（7月）</p> <p>(2) グランドゴルフ決勝大会（11月）</p> <p>(3) かるがもファミリーマラソン大会（2月）</p> <p>(4) ほ도가やスポーツ祭り（3月）</p> <p>2 横浜FCとの連携</p> <p>ほ도가や区民DAYの開催（6月～8月）</p>
---	--

<h2 style="text-align: left;">II 暮らしの安全・安心の確保</h2> <h2 style="text-align: right;">【20,952千円】</h2>	
<p>誰もが安全に、安心して暮らせるよう、地域防災力の強化や将来の地域防災の担い手育成、災害時の体制強化などの災害対策を推進するほか、地域防犯力の向上、交通安全対策、食の安全などに取り組みます。</p>	
事業名	事業内容
<p>10 災害対策推進事業 【20万区民の自助・共助による減災運動】拡充</p> <p>《総務課》</p> <p>【R 6 予算：10,095】</p> <p>【R 5 予算：12,700】</p>	<p>区民の自助・共助の意識向上や地域の防災力強化を図るため、効果的な広報啓発や将来の地域防災の担い手育成等を行います。</p> <p>また、区災害対策本部などの危機管理体制の強化に取り組みます。</p> <p>1 地域防災力の強化・地域防災の担い手育成</p> <p>(1) 地盤品質判定士等専門家による崖地所有者向けの相談会（2回）新規</p> <p>(2) 区内小学校4年生向けの出前授業（がやっこレスキュー隊 Jr.） （全20校）拡充</p> <p>(3) 若者向けの防災啓発ツール（ショート動画等）の作成・発信 新規</p> <p>(4) 災害時ペット対策物品（一時飼育場所開設キット）配布（10拠点）拡充</p> <p>(5) 在宅避難リーフレット等を活用した自助・共助の啓発（通年）</p> <p>(6) 防災講習会への講師派遣等による地域の防災活動の支援（通年）</p> <p>2 危機管理体制の強化</p> <p>(1) 災害時に備えた訓練・研修等による区本部体制の強化（通年）</p> <p>(2) 関係機関との連絡体制の構築（通年）</p> <p>(3) 区本部用資機材の整備（通年）</p> <p>(4) 河川水位警報システムなど防災関連システムの運用・保守管理（通年）</p> <p style="text-align: right;">⇒詳細は14ページ参照</p>
<p>11 交通安全対策事業</p>	<p>交通安全運動や交通安全教育を実施して交通事故の防止を推進します。また、駅周辺の自転車等放置防止のため、「自転車等放置防止監視員」を配置して利用者への啓発を実施します。</p> <p>1 交通安全教育・啓発</p> <p>(1) はまっ子交通安全教室の実施（16校）</p> <p>(2) 三世代交通安全教室の実施（10月）</p> <p>2 交通安全対策</p>

《地域振興課》 【R 6 予算：3,348】 【R 5 予算：3,348】	(1) 電柱巻標示や路面標示の設置（通年） (2) スクールゾーン対策協議会の開催（通年） 3 自転車等放置防止対策 自転車等放置防止監視員による啓発（通年）
12 地域防犯力向上事業 《地域振興課》 【R 6 予算：5,702】 【R 5 予算：5,675】	街頭犯罪を防止し、安心・安全・快適なまちづくりを進めるため、警察、地域、関係団体と連携して地域の防犯力を向上させる取組を実施します。 1 地域防犯力の向上 (1) 帷子番所（空き店舗を活用した防犯商店街）の活動支援（通年） (2) 防犯物品の配布や防犯コンクールの開催による防犯啓発（通年） (3) こども110番あんしんの家支援（通年） 2 防犯センターの運営（通年）
13 暮らしの衛生サポート事業 《生活衛生課》 【R 6 予算：709】 【R 5 予算：759】	生活衛生に関する最新情報や正しい知識についてわかりやすくお知らせし、区民の安全・安心な食と生活環境づくりを支援します。 1 暮らしの衛生サポート (1) 飲食店や区民への食中毒予防のための啓発物品の配布（通年） (2) 犬・猫の飼い主に対する適正飼育に関する情報の提供（通年）
14 ほどがやゼロカーボン推進事業 《区政推進課・地域振興課》 【R 6 予算：1,098】 【R 5 予算：1,098】	2030年度温室効果ガス排出削減目標の達成、2050年の脱炭素化の実現を目指し、区民一人ひとりの環境意識を高め、温暖化防止や脱炭素化の啓発を行います。 1 脱炭素ライフスタイルの浸透に向けた啓発 (1) 環境フェアイベント等の開催（4～12月） (2) SNSや広報よこはま等での啓発（通年） 2 プラスチックや食品ロス削減に向けた啓発 (1) 各種イベントや分別教室等での啓発実施（通年）

Ⅲ つながり・支えあいの推進

【22,957千円】

地域のつながり・支えあいの推進のため、地域の活動支援や担い手育成に取り組みます。また、保土ヶ谷ほっとなまちづくり（地域福祉保健計画）の推進と次期計画の策定準備を進めます。

事業名	事業内容
15 保土ヶ谷ほっとなまちづくり推進事業 《福祉保健課》 【R 6 予算：1,574】 【R 5 予算：2,002】	第4期保土ヶ谷ほっとなまちづくり（区地域福祉保健計画）の推進や第5期計画策定に向け、ほっとなまちづくりフォーラムやこどもからの意見を聞くワークショップ等を行います。 また、各地域が抱える様々な課題に対し主体的に取組を進められるよう、地区支援チームが支援します。 1 保土ヶ谷ほっとなまちづくりの推進 (1) ほっとなまちづくり推進会議の開催（6・9・12・2月） (2) ほっとなまちづくりフォーラムの開催（12月） (3) こどもワークショップの開催（7～8月） (4) 第5期計画策定に向けたデータ集の作成（4～12月）

<p>16 自治会町内会支援事業</p> <p>《地域振興課》</p> <p>【R 6 予算：3,500】</p> <p>【R 5 予算：3,418】</p>	<p>地域活動の根幹となる自治会町内会において、住民主体の活動が継続・安定的に行われるよう、自治会町内会の負担軽減に配慮しつつ支援を行います。</p> <p>1 自治会町内会の負担軽減（配送ルートによる資料送付）（通年）</p> <p>2 自治会町内会感謝会の開催（2月～3月）</p>
<p>17 市民活動支援事業</p> <p>《地域振興課》</p> <p>【R 6 予算：3,896】</p> <p>【R 5 予算：4,378】</p>	<p>地域で活動する区民や団体間の連携・協働を図り、まち全体の活性化を進めるため、市民活動・生涯学習活動の拠点となる市民活動支援センターの運営を行います。</p>
<p>18 区民会議との住み良いまちづくり協働事業</p> <p>拡充</p> <p>《区政推進課》</p> <p>【R 6 予算：1,037】</p> <p>【R 5 予算：844】</p>	<p>「地域のつどい」、「50周年記念式典兼区民のつどい」の開催や、区民会議の活動を広く区民にお知らせするニュース「やまびこ」の発行などを、区民会議と協働により実施します。</p> <p>1 区民会議の活動支援</p> <p>(1) 「地域のつどい」の開催支援（6月）</p> <p>(2) 「50周年記念式典兼区民のつどい」の開催支援（11月） 新規</p> <p>(3) 区民会議50周年記念誌の発行（11月） 新規</p> <p>(4) 区民会議広報「ニュースやまびこ」の発行（3月）</p> <p>(5) 分科会の活動支援（通年）</p>
<p>19 ほどがや区民まつり</p> <p>《地域振興課》</p> <p>【R 6 予算：6,000】</p> <p>【R 5 予算：4,900】</p>	<p>区民や区内各種団体の交流促進及び地域コミュニティの活性化のため、区民が主体となって企画・運営を行い、区民が参加する「区民まつり」を開催します。</p> <p>1 ほどがや区民まつりの開催（10月）</p>
<p>20 地域見守り推進事業</p> <p>《福祉保健課》</p> <p>【R 6 予算：2,141】</p> <p>【R 5 予算：2,141】</p>	<p>ひとり暮らし高齢者等が地域でつながりを持ち、孤立せずに安心して暮らすことができるよう、民生委員・児童委員のほか、地域にお住まいのあんしん訪問員（ボランティア）による見守りを行います。</p> <p>また、民生委員・児童委員の負担軽減を図るため、委員を補佐する協力員を配置するとともに、活動について区民の理解を深めるための広報・啓発を行います。</p> <p>1 あんしん訪問事業</p> <p>(1) あんしん訪問員活動への支援（通年）</p> <p>(2) あんしん訪問事業地区研修会の開催支援（通年）</p> <p>(3) あんしん訪問事業地区推進委員会連絡会の開催（3月）</p> <p>2 民生委員・児童委員協力員の委嘱、活動支援（通年）</p>
<p>21 地域の担い手はぐくみ事業</p>	<p>区民が地域に関心を持つきっかけを作り、地域活動に参加する機会を設けることで、協働の担い手となる人材の発掘・育成を行います。また、区民利用施設同士が連携して地域活動を活性化する体制を作ります。</p> <p>1 区民向けの講座・支援</p> <p>(1) 参加者同士の交流を図りながら、協働や講座の企画・運営方法、より実践的なスキルを学ぶ講座の実施（5～9月）</p> <p>(2) 興味関心の高いテーマで、社会参画のすそ野を広げる講座の実施（10～12月）</p> <p>(3) 区民が主体的に地域課題に取り組み、講座の企画・運営することを支援（通年）</p>

《地域振興課》 【R 6 予算：1,912】 【R 5 予算：2,015】	(4) 区内活動団体による地域活動に係る取組の支援（通年） 2 区民利用施設職員向けの研修・支援 (1) 施設職員と行政職員の連携強化とスキルアップ、コーディネータ力の向上を目的とした研修の実施（10～2月）
22 多文化共生まちづくり事業 《区政推進課・地域振興課》 【R 6 予算：1,497】 【R 5 予算：1,671】	日本人と外国人が相互理解を深め、ともに地域の一員として安心して暮らせる多文化共生のまちづくりを区と関係団体等が連携し、推進します。 1 多文化共生の推進 (1) 区民向け多文化共生の啓発（通年） (2) 横浜国立大学留学生による自国文化の発信や地域との交流の促進（通年） 2 ブルガリア文化の区民向けイベントの開催（通年） 3 国際理解特別授業の実施（1月～3月）
23 地域におけるデジタル化推進事業 《区政推進課・地域振興課》 【R 6 予算：1,400】 【R 5 予算：1,127】	自治会町内会の負担軽減を図ることを目的に、自治会町内会活動のデジタル化を進めます。あわせて、自治会町内会がデジタルツールの導入を検討しやすくなるよう、情報伝達アプリ等の利用に係る補助も行います。 1 自治会町内会におけるデジタル化推進 (1) デジタルに関する研修会・ワークショップ等の開催（通年） (2) 区内の事例やデジタルツールの使い方などの情報発信（通年） (3) 情報伝達アプリ等の導入支援（通年）

IV 魅力と賑わいのあるまちづくり

【20,189千円】

2027年(令和9年)の区制100周年及びGREEN×EXPO 2027に向けて、「ほどがや花憲章」に基づく花の街づくりや、自然や歴史、地域資源を生かした取組を推進し、区の魅力向上と気運醸成を図ります。

事業名	事業内容
24 区制100周年ブースター事業 拡充 《地域振興課・区政推進課・福祉保健課・こども家庭支援課》	令和9年に迎える区制100周年に向けて、多くの区民の参加の下、機運醸成を図ります。 また、4月に実行委員会を立ち上げ、区民と共にテーマごとの具体的な取組を進めることで、次の100年に向けた区の魅力を向上させ、「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」の実現を図ります。 1 <未来>事業 (1) 「未来の主役たちによる区制100周年プロジェクト」による中学生の企画の検討、実施（通年） (2) 区民まつりでの謎解きイベントなど、機運醸成企画の実施（10月） 2 <こども>事業 (1) ほどがやダンス（仮称）の作成・普及（通年） 新規 3 <魅力>事業 (1) SNSを活用したフォトコンテストの開催（7月～1月） (2) 保土ヶ谷産野菜を使った地産地消料理コンテストの開催（4月～8月）

<p>【R 6 予算：3,845】 【R 5 予算：3,070】</p>	<p>4 <つながり>事業 (1) ラジオ体操講師の派遣（通年） (2) 区民まつりにおける地区対抗綱引き大会の開催（10月） ⇒詳細は15ページ参照</p>
<p>25 花薫るきれいな街ほど がや事業（GREEN× EXPO2027 連携事業） 拡充</p> <p>《地域振興課・総務課・ 高齢・障害支援課》 【R 6 予算：7,276】 【R 5 予算：6,747】</p>	<p>平成10年に地域の皆様とともに制定した「ほどがや花憲章」に基づく「花の街ほどがや」づくりを一層推進するとともに、全市を挙げて準備を進めているGREEN×EXPO 2027の開催に向けた機運醸成を進めます。また、花を通じて障害者の社会参加の促進を図ります。</p> <p>1 花の街事業 (1) 区民ボランティア（「ほどがやフラワーメイト」）による花壇づくり（毎月2回） (2) 幼稚園や保育園、小中学校に花苗を配布し、花を育てる機会を創出し「ほどがやフラワーメイトジュニア」として任命（春・秋/年2回配布）拡充 (3) バッグ型コンポストの貸し出しによる区民参加型の家庭ごみの堆肥化・花の植え付け（5月開始 配付数30個程度）新規 (4) 啓発物品等を用いた「ほどがや花憲章」及びGREEN×EXPO2027の普及・啓発</p> <p>2 ほどがや花の街推進連絡会推進事業 (1)ほどがや花フェスタ2024の開催（5月）</p> <p>3 ほどがや花のおもてなし事業 (1) 区内の障害福祉事業所による区役所窓口（15か所）へのフラワーアレンジメントの展示（週1回・通年） ⇒詳細は16ページ参照</p>
<p>26 歴史浪漫ほどがや事業</p> <p>《区政推進課》 【R 6 予算：2,789】 【R 5 予算：2,409】</p>	<p>旧東海道の宿場町に代表される保土ヶ谷区ならではの歴史的魅力を生かしたまちづくりを、区民との協働で進めます。</p> <p>1 歴史的魅力を生かしたまちづくり (1) 若年層に歴史の魅力を伝えるワークショップ等の企画・開催（4～11月） (2) まちあるきイベントの開催（9～2月） (3) 歩きやすい街道づくり（松並木の樹木管理及び案内サイン等の維持管理）（通年）</p>
<p>27 星川駅周辺の魅力づくり事業</p> <p>《区政推進課》 【R 6 予算：1,000】 【R 5 予算：1,000】</p>	<p>「星川駅周辺地区総合的なまちづくりガイドライン」に基づき、利便性が高く魅力あふれるまちづくりを進めるため、星川駅高架下空間の活用やその周辺の地域資源を生かした魅力向上を図る取組を実施します。</p> <p>1 星川駅高架下等を活用したにぎわい創出 (1) にぎわい創出のイベント等の実施（11月頃） (2) 地域で活躍する団体等との連携（通年）</p>

<p>28 商工業魅力発信事業</p> <p>《地域振興課》</p> <p>【R 6 予算：1,068】</p> <p>【R 5 予算：703】</p>	<p>地域コミュニティの担い手である商店街の活性化を図るため、区商店街連合会に加盟する商店が一堂に会して商店街をPRする場を提供し、また、様々な広報媒体を活用しながら、商店街の活性化を支援します。さらに、工業振興として、こどもを対象に区内ものづくり企業の魅力をPRする「ほ도가やこどもファクトリーツアー」を実施します。</p> <p>1 商店街の活性化支援</p> <p>(1) 区商連・横浜FC連携事業 商店街を舞台とした「ほ도가やクイズラリー」の開催（10～11月）</p> <p>(2) ほ도가や商店街元気市の開催（5月、10月）</p> <p>2 ほ도가やこどもファクトリーツアーの開催（2～3月頃）</p>
<p>29 地産地消推進事業</p> <p>《区政推進課》</p> <p>【R 6 予算：319】</p> <p>【R 5 予算：323】</p>	<p>農家や地域活動団体との連携により、区民が「農」を身近に感じられる取組を通じて、地産地消を推進します。</p> <p>1 地産地消の推進</p> <p>(1) ほ도가や朝市の開催</p> <p>(2) 地産地消のPR（花フェスタ、区民まつりへの出展）</p> <p>(3) 直売所マップの配布</p>
<p>30 読書活動推進事業</p> <p>《地域振興課》</p> <p>【R 6 予算：550】</p> <p>【R 5 予算：550】</p>	<p>区役所・図書館・学校・区民利用施設等が連携し、読書活動の啓発や読書に親しむ講座などを実施することで、保土ヶ谷区民の読書活動を推進します。</p> <p>1 読書活動の推進</p> <p>(1) 読書活動推進講演会の開催（2月頃）</p> <p>(2) 読書活動推進講座の実施（通年）</p>
<p>31 ほ도가や芸術の街拡充</p> <p>《地域振興課・区政推進課》</p> <p>【R 6 予算：3,342】</p> <p>【R 5 予算：2,342】</p>	<p>保土ヶ谷区内の文化活動による地域振興を目指して、区民文化祭、区民ギャラリー、区民密着型コンサート及び区の歌普及の各事業を実施します。</p> <p>1 区内文化活動の振興・支援</p> <p>(1) 区民コンサート（7月）</p> <p>(2) 区民文化祭（9月～2月）</p> <p>(3) 区の歌「わがまち、保土ヶ谷」の普及（通年）</p> <p>(4) 区民ギャラリーでの作品展示（通年）</p> <p>2 文化活動に関する区民ニーズの調査（通年） 新規</p>

V 信頼される区役所づくり

【14,692千円】

区民の皆さまに寄り添ったきめ細かな窓口サービスの充実や、安心して快適に利用することができる区庁舎の環境改善を進めます。また、様々な媒体を活用しながら行政情報を分かりやすく発信します。

事業名	事業内容
<p>32 区役所サービス向上・環境改善事業^{拡充}</p> <p>《総務課》</p> <p>【R6 予算：12,992】</p> <p>【R5 予算：9,792】</p>	<p>区民の皆様が利用しやすい区役所を目指し、安心して快適に利用できる施設環境の整備・改善を進めるほか、区民のニーズを的確に捉え、より満足度の高い窓口サービスを実現するための職員研修等を実施します。</p> <p>1 区庁舎の環境改善^{拡充}</p> <p>(1) 施設・設備の改修等による区庁舎環境改善（通年）</p> <p>(2) 来庁者にとって分かりやすい案内サイン更新（通年）</p> <p>(3) 窓口受付番号表示システムの導入（11月～3月）</p> <p>2 執務室・会議室等におけるデジタル環境の整備（通年）^{拡充}</p> <p>3 窓口サービス向上のための職員研修の実施（通年）</p> <p>(1) 職員のスキルアップ研修の実施（年2回）</p> <p>(2) 人権啓発研修の実施（6～12月）</p>
<p>33 広報推進事業</p> <p>《区政推進課》</p> <p>【R6 予算：1,700】</p> <p>【R5 予算：2,670】</p>	<p>保土ケ谷区の知って得する情報や魅力を、様々な広報活動により発信します。</p> <p>1 広報・情報発信</p> <p>(1) 転入者向け行政情報・マップ等の配布（通年）</p> <p>(2) デジタル媒体（X(旧Twitter)・Instagram・サイネージ等）による区政情報・区の魅力発信（通年）</p> <p>(3) 保土ケ谷区ガイドマップの作成・配布（通年）</p> <p>(4) 職員向け広報マインド醸成研修の実施（8月）</p> <p>(5) 保土ケ谷区に関する各種統計情報「保土ケ谷区統計便覧」の発行（3月）</p>

2 主な事業の概要

施策分野・事業名	6年度原案	5年度予算	増▲減
◆子どもから高齢者まで誰もが健やかに暮らせるまちづくり	5, 898 千円	5, 686 千円	212 千円
ほどがや happy 子育て～妊娠期からの安心サポート～ (こども家庭支援課)			

「保土ヶ谷区子育てアンケート」の結果から、悩みや不安に対応する取組を引き続き実施するとともに、要望の高かった「親子が子連れで楽しめるイベント」を拡充します。

併せて、地域全体で子育てを支援する風土を醸成するため、地域の子育て関係機関の連携促進や保育所の質の向上、放課後の居場所づくりを支援する取組を進めます。

事業内容

1 地域と連携した子育て支援

養育者が子育てに安心や楽しさを感じられるよう、仲間づくりや育児相談の場の提供、様々な子育て関連情報の紹介、親子で楽しめる機会の充実を進めるとともに、地域の子育て支援者や関係機関の連携促進に取り組みます。

- (1) 地域赤ちゃん教室の開催(14 地区、通年)や子育てお役立ち情報の発信(通年)
- (2) 地域子育て支援連絡会の開催
(全体会:2月、地区別連絡会:7地区、通年)
- (3) 「ほどがやこどもニコニコフェスタ」の開催(10月) **拡充**



地域赤ちゃん教室

2 保育所による妊娠期・未就学児親子の支援

在園児とその保護者だけでなく、広く妊婦や未就園児、その養育者に寄り添い、多様なアプローチにより、子育て相談や仲間づくりの機会を提供し、地域における育児をサポートします。

- (1) 保育士が人の集まる商業施設等に出向き「子育て応援隊」を開催(3回)
- (2) 妊婦や未就学児親子を対象とした育児相談や園庭開放、絵本の貸出等の実施(通年)
- (3) 親子向けイベント「ほがらか広場」(10月)や子育てサロンでの「ほがらか育児講座」(5回)の開催
- (4) 親子で楽しめる芸術鑑賞イベントの開催(9月予定) **新規**



子育て応援隊

3 地域と連携した放課後事業

放課後の居場所づくりを行っている団体のネットワーク化を図ることで、団体間の交流を促進し、それぞれが抱える課題の共有やアドバイスを行うことで、活動の活性化につなげます。また、放課後児童健全育成事業所のプログラム活動の充実を図ります。

- (1) ネットワーク会議の開催(3回)
- (2) 各団体の活動を周知するための HP 作成 **新規**
- (3) 放課後キッズクラブ・児童クラブへの学習支援アドバイザー派遣やプログラム等の運営支援及び研修の実施(通年)

施策分野・事業名	6年度原案	5年度予算	増▲減
◆ 暮らしの安全・安心の確保			
災害対策推進事業	10,095	12,700	▲2,605
【20万区民の自助・共助による減災運動】（総務課）	千円	千円	千円

本年1月に最大震度7を観測した能登半島地震などの大地震や、台風等が引き起こす風水害など、近年、全国各地で大きな災害が発生しています。また、区内においても昨年2月、6月には大雨等により崖崩れが複数の箇所で発生するなど、自然災害は区民生活を脅かす極めて身近な問題となっています。

このため、区民の皆様への広報啓発や区本部体制の強化を図るとともに、災害(地震・風水害等)に備えた自助・共助・公助の取組を一層推進します。

事業内容

1 地域防災力の強化・地域防災の担い手育成

効果的な広報啓発や将来の地域防災の担い手育成等の実施により、区民の自助・共助の意識を向上させて地域の防災力強化を図ります。

- (1) 地盤品質判定士等専門家による崖地所有者向けの相談会(2回) **新規**
- (2) 区内小学校4年生向けの出前授業(がやっこレスキュー隊 Jr.) (全20校) **拡充**
- (3) 若者向けの防災啓発ツール(ショート動画等)の作成・発信 **新規**
- (4) 災害時ペット対策物品(一時飼育場所開設キット)の配布(10拠点) **拡充**
- (5) 在宅避難リーフレット等を活用した自助・共助の啓発(通年)
- (6) 防災講習会への講師派遣等による地域の防災活動の支援(通年)



がやっこレスキュー隊 Jr.出前授業



在宅避難リーフレット



防災啓発ツール

(ショート動画イメージ)

2 危機管理体制の強化

災害時の区本部体制などの危機管理体制(公助)の強化に取り組むことで、危機管理・防災力の向上を図ります。

- (1) 災害時に備えた訓練・研修等による区本部体制の強化(通年)
- (2) 関係機関との連絡体制の構築(通年)
- (3) 区本部用資機材の整備(通年)
- (4) 河川水位警報システムなど防災関連システムの運用・保守管理(通年)

施策分野・事業名	6年度原案	5年度予算	増▲減
◆ 魅力と賑わいのあるまちづくり			
区制 100 周年ブースター事業 (地域振興課ほか)	3, 845 千円	3, 070 千円	775 千円

令和9年に迎える区制 100 周年に向けて、多くの区民の参加の下、機運醸成を図ります。

また、4月に実行委員会を立ち上げ、区民と共にテーマごとの具体的な取組を進めることで、次の 100 年に向けた区の魅力を向上させ、「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」の実現を図ります。

事業内容

〈4つの基本テーマ〉に沿った事業を実施します。

1 〈未来〉事業

(1) 未来の主役たちによる区制 100 周年プロジェクト(通年)

これからの保土ヶ谷区を支える現在の中学生在が、自分たちの住むまちの未来を考え、区制 100 周年を主体的に迎えらるよう、企画を検討、実施します。

(2) 機運醸成企画(10 月頃) **新規**

区民まつりにおける謎解きイベントなど、楽しみながら区制 100 周年を知ることができるイベントを開催し、区民総出で祝う機運を醸成します。

2 〈こども〉事業

(1) ほどがやダンス(仮称)の作成 (通年) **新規**

こどもたちの郷土愛を育み、機運醸成につながるよう、保育士が園児に親しみやすい曲・ダンスを作成します。

3 〈魅力〉事業

(1) SNS フォトコンテスト(7月～1月)

保土ヶ谷区の魅力あふれる写真を募集し、受賞作品を展示することで魅力を伝えます。

(2) 地産地消料理コンテスト(4月～8月)

ほどがや産野菜を使ったレシピを募集し、区制 100 周年に記念レシピを発行します。

4 〈つながり〉事業

(1) ラジオ体操(通年 10 回)

ラジオ体操の講師を派遣し、地域での実施を促すことで地域を元気に盛り上げます。

(2) 地区対抗綱引き大会(10 月)

区民まつりにおいて、地区対抗の綱引き大会を行い、地区内外のつながりを促進します。



地産地消料理コンテスト



未来の主役たちによる区制 100 周年 PJ (広よこ 2 月号)

施策分野・事業名	6年度原案	5年度予算	増▲減
◆ 魅力と賑わいのあるまちづくり			
花薫るきれいな街ほどがや事業 (GREEN×EXPO 2027 連携事業)(地域振興課)	7, 276 千円	6, 747 千円	529 千円

平成10年に地域の皆様とともに制定した「ほどがや花憲章」に基づく「花の街ほどがや」づくりを一層推進するとともに、全市を挙げて準備を進めているGREEN×EXPO 2027の開催に向けた機運醸成を進めます。

事業内容

1 花の街事業

- (1) 区民ボランティア(「ほどがやフラワーメイト」)による花壇づくり **拡充**
区庁舎花壇の植栽等を「ほどがやフラワーメイト」とともに実施し、「花の街ほどがや」の推進とGREEN×EXPO 2027の機運醸成を行います。(毎月2回)



花苗に水やりをする園児

- (2) 区内の幼稚園や保育園、小中学校への花苗配布 **拡充**
区内の児童・生徒を「ほどがやフラワーメイトジュニア」として任命し、花苗を育てるなかで、やさしさや美しさを感じる心を育み、環境に対する関心を持ってもらいます。(春 秋 年2回配布)



バッグ型コンポストを用いた生ごみの堆肥化

- (3) ゼロカーボンガーデンプロジェクト(仮) **新規**
区民にバッグ型コンポストを貸与して生ごみの堆肥化にご協力いただき、フラワーメイト等とともに花壇づくりを行うことで、脱炭素化等の取組を推進します。(5月開始 配付数 30 個程度)

- (4) 「ほどがや花憲章」及びGREEN×EXPO 2027 認知度向上 **拡充**
区内公共施設への花苗と「ほどがや花憲章」プレートの配布や、イベントでの横断幕及びのぼり旗の設置により、認知度向上を図ります。



ほどがや花フェスタ

2 ほどがや花の街推進連絡会推進事業

- (1) 「ほどがや花フェスタ2024」の開催
「ほどがや花憲章」の理念を生かしたイベント「ほどがや花フェスタ2024」を5月に実施します。花と緑に関連したブースに加え、脱炭素化に向けた啓発のブースを設置し、令和6年1月に策定した「ヨコハマ プラ 5.3 計画」の普及啓発も行います。



フラワーアレンジメント
(花のおもてなし事業)

3 ほどがや花のおもてなし事業

- (1) 区内障害福祉事業所にフラワーアレンジメント作製を依頼し、区役所の各窓口に表示して、来庁者をお迎えします。(毎週月曜)



3 統合事業費一覧 (R6 18, 297千円・8事業 R5 17, 951千円)

事業名	事業内容
1 広報よこはま発行事業 《区政推進課》 【R6 予算：8,458】 【R5 予算：8,028】	「広報よこはま ほどがや区版」を毎月発行し、市民が必要とする区政・事業等の行政情報を、分かりやすく正確に広報します。(通年)
2 広聴の相談事業 《区政推進課》 【R6 予算：718】 【R5 予算：724】	区民が抱える生活上の問題・悩み(離婚・相続・相隣問題等)の解決に結びつけるため、法律相談等の機会を提供します。(通年)
3 消費生活対策事業 《地域振興課》 【R6 予算：101】 【R5 予算：101】	地域社会の安全で快適な消費生活を実現するため、街頭キャンペーン等の消費生活関連啓発活動等により、悪質商法対策や消費生活向上に向け普及啓発を行います。(通年)
4 緊急時情報システム事業 《総務課》 【R6 予算：429】 【R5 予算：496】	即時避難指示対象区域に居住する区民に、区から防災に関する緊急情報を固定電話回線を使用した自動音声により通知し、迅速な避難行動を促します。(通年)
5 スポーツ推進委員事業 《地域振興課》 【R6 予算：2,270】 【R5 予算：3,540】	スポーツイベントの開催などを通して、区民の心身の健康育成や体力の向上等を図ります。また、スポーツ活動を推進する人材の力量・知識、活動の認知度向上のため、研修及び広報活動を行います。(通年)
6 青少年指導員事業 《地域振興課》 【R6 予算：5,175】 【R5 予算：3,910】	青少年を対象とした事業を実施し地域交流を促進するほか、夜間パトロール等により青少年を取り巻く環境を保全し、青少年の健全育成に寄与することを目指します。また、青少年の健全育成活動を推進する青少年指導員の資質向上のための研修や、活動を広く周知するための広報誌を作成することで、担い手の発掘・育成を行います。(通年)
7 学校・家庭・地域連携事業 《こども家庭支援課》 【R6 予算：960】 【R5 予算：960】	青少年の非行防止や健全育成を推進するため、学校・家庭・地域が連携し地域の特性を生かしながら自主的に実施する事業を支援します。(通年)
8 健康づくり月間事業 《福祉保健課》 【R6 予算：186】 【R5 予算：192】	9月から11月までを健康づくり月間と位置づけ、保健・衛生に関する正しい知識の普及、健康寿命の延伸に向けた健康意識の啓発等に係る各種団体の活動を支援します。

《参考》

令和6年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

番号	項目	提案内容の概要	所管局	○：対応 △：一部対応
1	旧保土ヶ谷小学校跡地の有効活用に向けた検討の推進	1 区局連携による検討の推進 2 民間のノウハウを活用した整備手法の検討	財政局	○
2	家具転倒防止器具の取付代行業の拡充	取付代行できる家具の上限の再検討	総務局	○
3	保土ヶ谷区総合庁舎における駐輪場の増設	消防司令センター移転に伴う、別館駐車場空きスペースを活用した駐輪スペースの増設	市民局	○
4	消防本部移転後のあと床利用	1 令和5年度の実施設計に基づく、工事・移転 2 上記移転に伴う、1F戸籍課のレイアウト変更の設計・工事移転	市民局	○
5	保土ヶ谷区総合庁舎の浸水対策	浸水予想水深(計画規模)1.0m対策及び浸水予想水深(想定最大規模)2.7m対策の実施設計	市民局	○
6	令和9年度横浜市の区制施行100周年に向けた機運醸成	令和9年度横浜市の区制施行100周年に向けた取組の推進	市民局	○
7	西谷駅の駅舎改良を含めた駅周辺の基盤整備等の推進	1 バリアフリーに配慮した南口エレベーター設置に向けた鉄道事業者との調整 2 基盤整備や生活支援機能施設等の整備に向けた検討	都市整備局	○
			道路局	—
8	保土ヶ谷宿を未来につなげるみちづくり事業	「旧東海道『保土ヶ谷宿』を未来へつなげるまち・みち再生計画」の整備着手	道路局	△
9	星川駅周辺のバリアフリー等の推進	星川橋人道橋のバリアフリー化に向けた検討	道路局	○
10	持続可能な自治会町内会運営に向けた自治会業務支援モデル事業の実施	自治会町内会加入率向上のため、DXの活用による自治会業務の負担軽減等に資するモデル事業の実施	市民局	△
11	横浜市保健活動推進員事務手続の効率化	担い手確保の観点から、他委嘱員にあわせて保健活動推進員交付金精算手続の簡素化の実施	健康福祉局	○
12	多職種連携によるアウトリーチ支援(精神障害のある方への訪問支援)	多職種連携によるアウトリーチ支援事業を外部の専門機関(生活支援センター)に委託して実施	健康福祉局	○
13	横浜子育てサポートシステムの給付事務の見直し	横浜子育てサポートシステムにおける「提供会員」の事務負担軽減を目的とした業務見直し又はDXによる効率化	こども青少年局	○

保土ヶ谷区子育てアンケートの結果概要について(報告)

保土ヶ谷区では、乳幼児を子育て中の世帯の実態やニーズを把握し、今後の区の子育て支援事業に生かしていくことを目的として「保土ヶ谷区子育てアンケート」を実施しました。このたび、アンケートの結果がまとまりましたので、概要をご報告いたします。

1 調査対象者

保土ヶ谷区に住民登録がある0歳から2歳までの乳幼児を子育て中の世帯(3,628世帯)の「主な養育者」とその「パートナー」

2 回答数

- (1) 「主な養育者」調査票A 1,705件(回答率46.9%)
- (2) 「パートナー」調査票B 1,320件(回答率36.3%)

3 調査方法

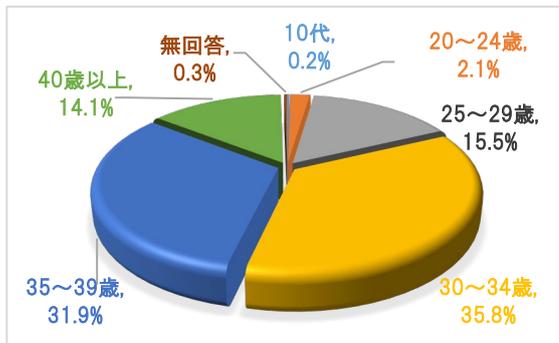
- (1) 令和4年10月～令和5年2月受診予定の乳幼児健康診査(4か月健診・1歳6か月健診・3歳児健診)対象者(1,318世帯)へ調査票を郵送し、乳幼児健康診査受診の際に回収
- (2) 上記以外の対象者(2,310世帯)については、令和4年10月に調査用紙を一斉送付し、郵送又は横浜市電子申請フォームで回答を依頼
- (3) 「主な養育者」には調査票A、「パートナー」には調査票Bと別様式で実施

4 結果概要

(1) 属性

ア 「主な養育者」(0～2歳の養育者)の年齢層

中心は30代で全体の67.7%を占めました。20代は17.6%で、約85%が20～30代となっています。



【参考】

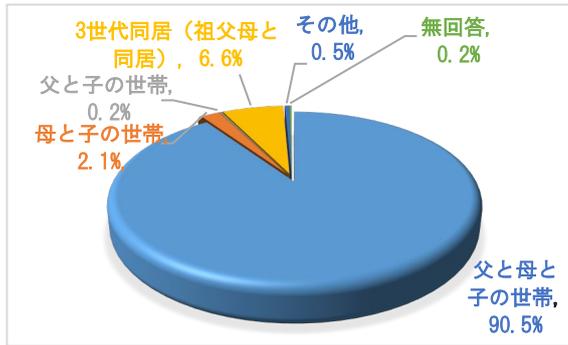
平成29年度子育てアンケート(※)結果

- ・30代 68.1%
- ・20代 17.9%
- ・40代 13.0%

※平成29年度は「0～3歳」の乳幼児を子育て中の世帯が対象

イ 家族構成

「父と母と子」の世帯が9割を超えています。「母と子」「父と子」のひとり親世帯は合わせて2.3%となっています。



【参考】

平成29年度子育てアンケート結果

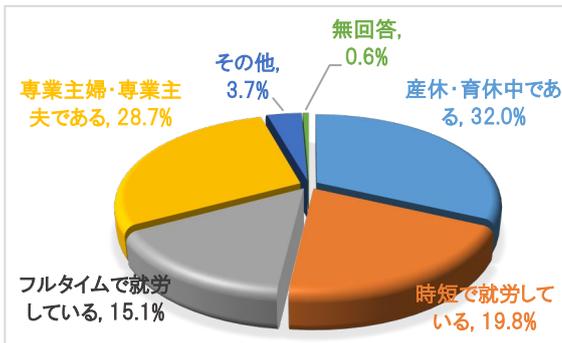
- ・「父と母と子」 89.4%
- ・「母と子」「父と子」 1.8%
- ・「祖父母と同居」 7.4%

ウ 就業状況

【主な養育者】は「産休・育休中」の割合が最も高く32.0%でした。「時短就労」「フルタイム就労」を合わせ、職に就いている方の割合は66.9%になりました。また「専業主婦・主夫」の割合は28.7%でした。

【パートナー】は「フルタイム就労」の割合が最も高く85.2%となっています。

「主な養育者」の就業状況

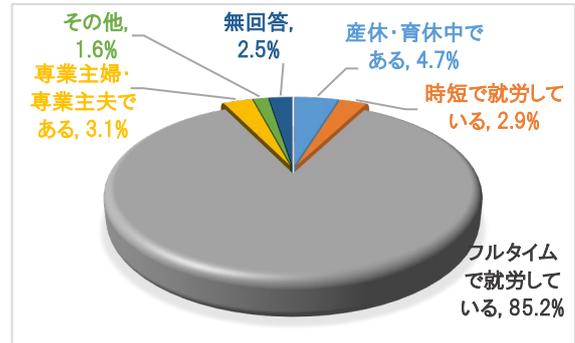


【参考】

平成29年度子育てアンケート結果

- ・職に就いている方 50.8%
- ・専業主婦・主夫 47.4%

「パートナー」の就業状況



【参考】

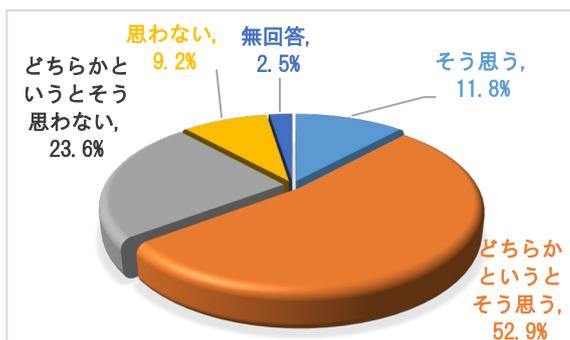
平成29年度子育てアンケート結果

- ・正社員・正職員 83.2%

(2) 子育てのしやすさ (回答者は「主な養育者」)

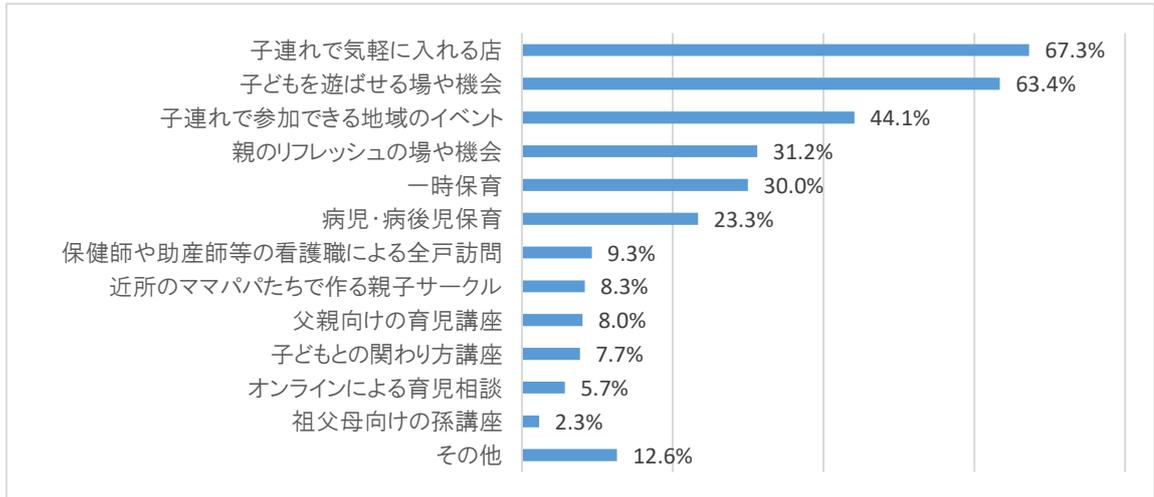
ア 保土ヶ谷区が子育てがしやすい町だと思いますか？

「どちらかというと思う」が52.9%と最も高く、「そう思う」(11.8%)と合わせ、6割半ばの方が保土ヶ谷区は子育てがしやすいと感じています。



イ 保土ヶ谷区が子育てしやすい町になるために充実するとよいもの（複数回答）

「子連れで気軽に入れるお店」の回答が最も高く、67.3%でした。また「子どもを遊ばせる場や機会」（63.4%）、「子連れで参加できる地域のイベント」（44.1%）、「親のリフレッシュ」（31.2%）が順に高くなっており、これらの充実を望む声が大いことがわかりました。他に10%を超えた回答は「一時保育」「病児・病後児保育」となっています。

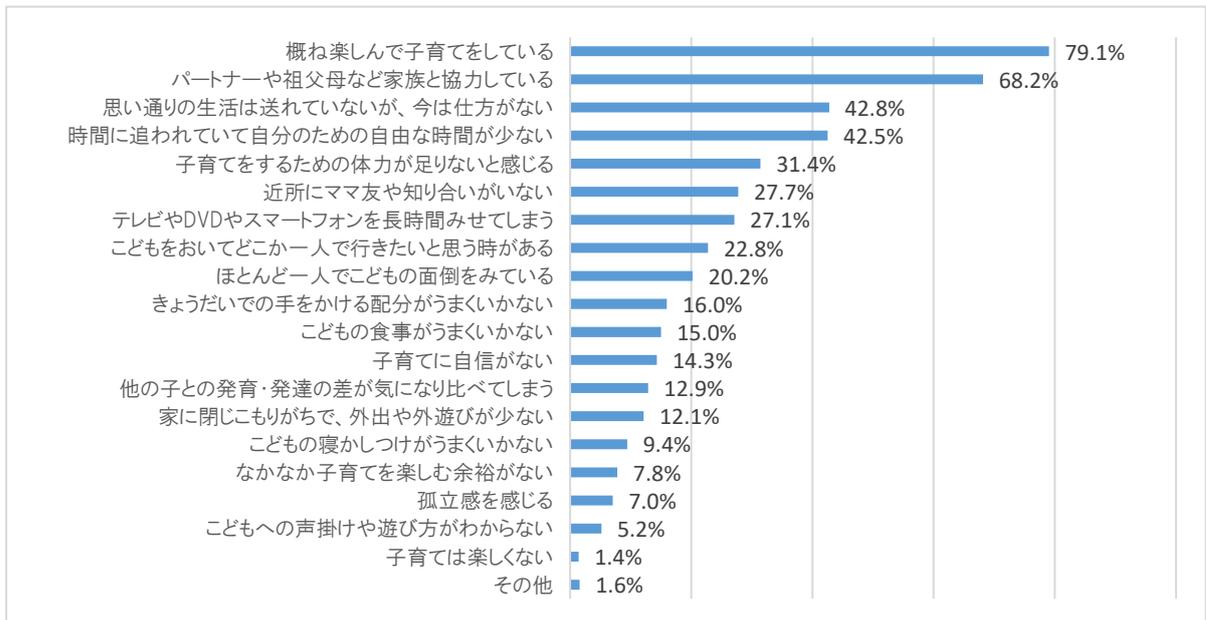


(3) 育児状況、地域との関わりについて（回答者は「主な養育者」）

ア 現在の育児状況（複数回答）

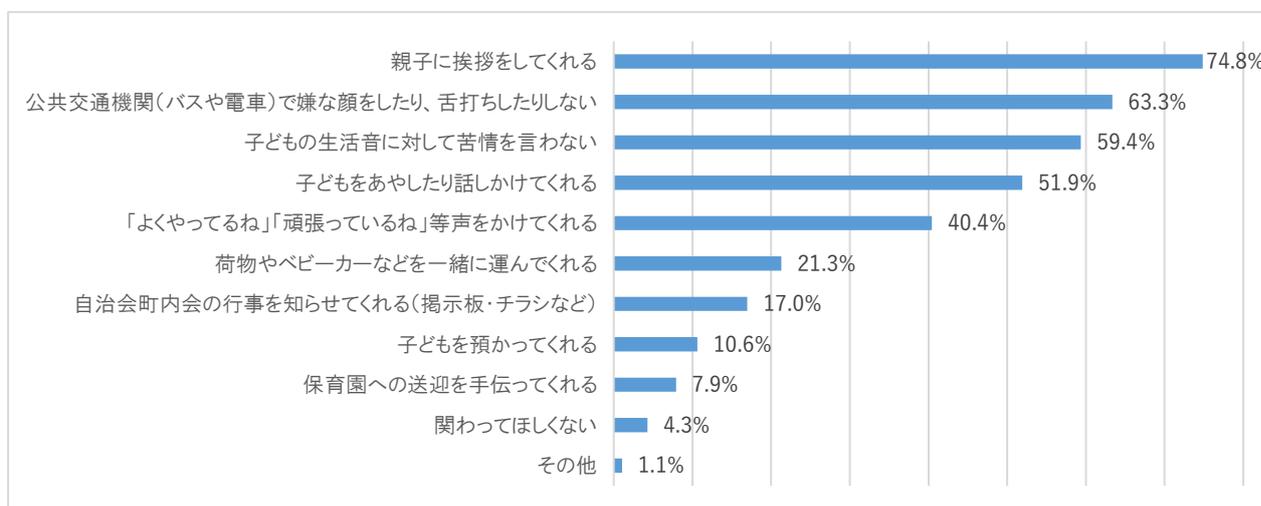
「概ね子育てを楽しんでいる」が79.1%と最も高く、「パートナーや祖父母と協力している」方も68.2%となっています。

一方、「時間に追われて自分のための時間がない」（42.5%）や「近所にママ友や知り合いがいない」（27.7%）、「テレビやDVDやスマートフォンを長時間見せてしまう」（27.1%）、「ほとんど一人でこどもの面倒をみている」（20.2%）など、「忙しさ」や「孤立感」、「ワンオペ」といった悩みにつながる回答も多く見られました。



イ 近所の人がどのようなことをしてくれたら嬉しいですか？（複数回答）

「親子に挨拶してくれる」が74.8%と最も高くなっています。また「公共交通機関で嫌な顔をしたり、舌打ちしたりしない」（63.3%）、「子どもの生活音に対して苦情を言わない」（59.4%）など、子育て世帯への理解を求める回答も高くなっています。



5 結果を踏まえた対応

(1) アンケート結果を踏まえ、保土ヶ谷区がより子育てしやすい町になるための取組について、区づくり推進自主企画事業を中心に検討を行い具体化します。

次年度は今回のアンケートで「子どもを遊ばせる場や機会」「子連れで参加できるイベント」等に対する要望が多かったことを踏まえ、「ほどがや Happy 子育て」事業において、子育て世帯を対象とした芸術鑑賞イベントを新たに行うほか、区内子育て団体が合同で開催する親子で楽しめる催し「ほどがやこどもニコニコフェスタ」の規模を拡大して実施します。

さらに「子連れで気軽に入れるお店」を望む声が大きかったことを受け、市で実施する「ハマハグ推進事業」に参加する店舗・施設の情報発信を強化します。

(2) 子育て世帯が感じている不安等に対応するため、引き続き仲間づくりや育児相談の場の提供、子育て関連の施設や遊びの紹介等を行います。併せて地域全体で子育てを支援する風土を醸成するため、地域の子育て関係機関の連携促進や保育所の質の向上、放課後の居場所づくりを支援する取組を進めます。

(3) 今回のアンケート結果から得られた区内の子育て世帯の現状を踏まえ、「パートナーとのコミュニケーション」や「子どもの発達に関する理解」、「子どもとの関わり方」など、養育者にとって悩みの要因となりやすいポイントを分類し、その対応方法や区役所・支援機関のサポート情報をまとめたリーフレットを作成します。リーフレットは子育て中の方々に配布するとともに、地域全体で連携して効果的な支援を行えるよう、子育て支援に関わる地域の関係者や支援機関とも共有します。